

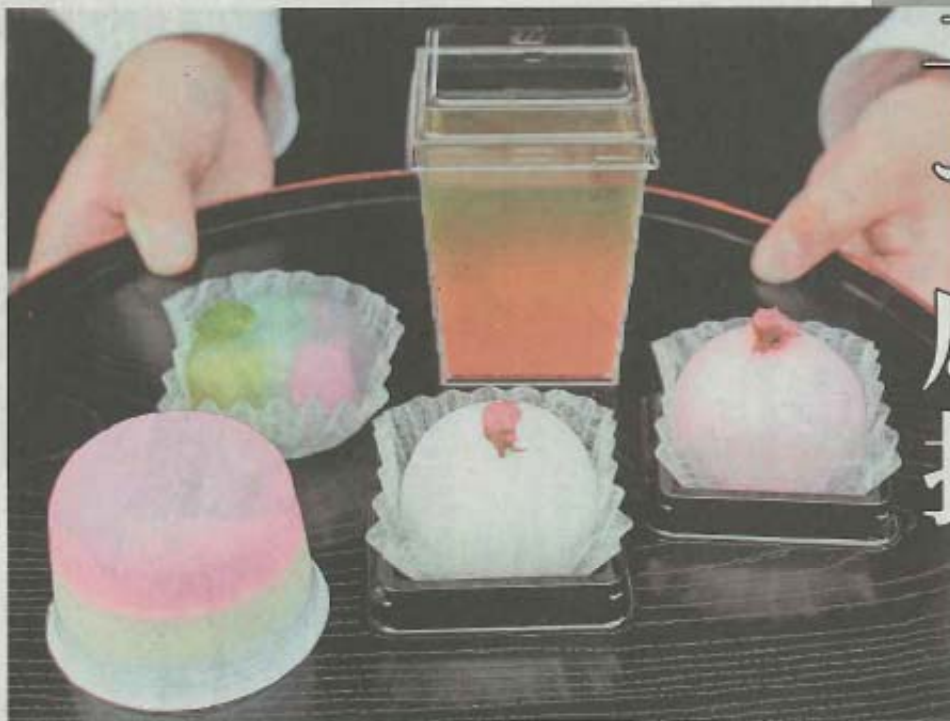
# 来月9日、日本VSイタリア 両国をイメージ

日出町の日出総合高校商業部と別府市の和菓子店「荒巻商店」は、6月9日に大分銀行ドーム(大分市)で開催されるラグビーのテストマッチ日本代表ーイタリア代表戦に向け、両国のイメージを表現した和菓子を開発した。当日に会場で販売し、盛り上げに一役買う。

## ラグビー代表戦 和菓子で応援



和菓子を開発した日出総合高校商業部の部長と和菓子店主の荒巻秀幸さん(左端)



手前が日本代表をイメージした赤白しまのプリンと紅白まんじゅう。奥がイタリアの三色旗をモチーフにしたくずまんじゅうとジュレ

で、地場企業と連携した商品開発などに取り組んでいる。今回は2年生の部員3人が菓子のデザインを考案。荒巻商店の店主、荒巻秀幸さん(49)の協力を得て、試行錯誤を重ね、商品化にこぎ着けた。

プロジェクトリーダーの橋本未来さん(17)は「日本やイタリアらしさが伝わるように考えました。多くのお客さんに味わってほしい」。荒巻さんは「外国のイメージで和菓子を作ったのは初めての経験。海外の人にも食べてもらいたい」と話した。

今後2019年ラグビーワールドカップ(W

### 日出総合高生と別府の荒巻商店が開発

## 4種類、会場で販売

和菓子は4種類。日本代表のジャージーの模様から着想したくずプリン(200円、販売数50個)は赤白の2層。日本代表の桜のエンプレムにちなんで赤い部分は桜風味になっている。山芋が入った紅白の上用まんじゅう(150円、各色25個)にも塩漬けの桜の花を添えた。

イタリア代表の菓子杯(大分開催に向けて、出場20カ国の「おもてなし和菓子」を用意する計画を練っている。顧問の甲斐浩一郎教諭(45)は「活動の目標は地域の活性化。W杯の機会に日本の伝統文化を紹介することで、海外の人が再び日本を訪れるきっかけにしたい」と意気込んでいる。

商業部は同校の部活動

(田尻雅彦)